

みんな なかよく

じんけん ぬりえ



京都府

ひと
〈ぬりえをした人〉

なまえ

ねんれい

さい

すきなもの

ひ
〈ぬりえをした日〉

れいわ
令和

ねん
年

がつ
月

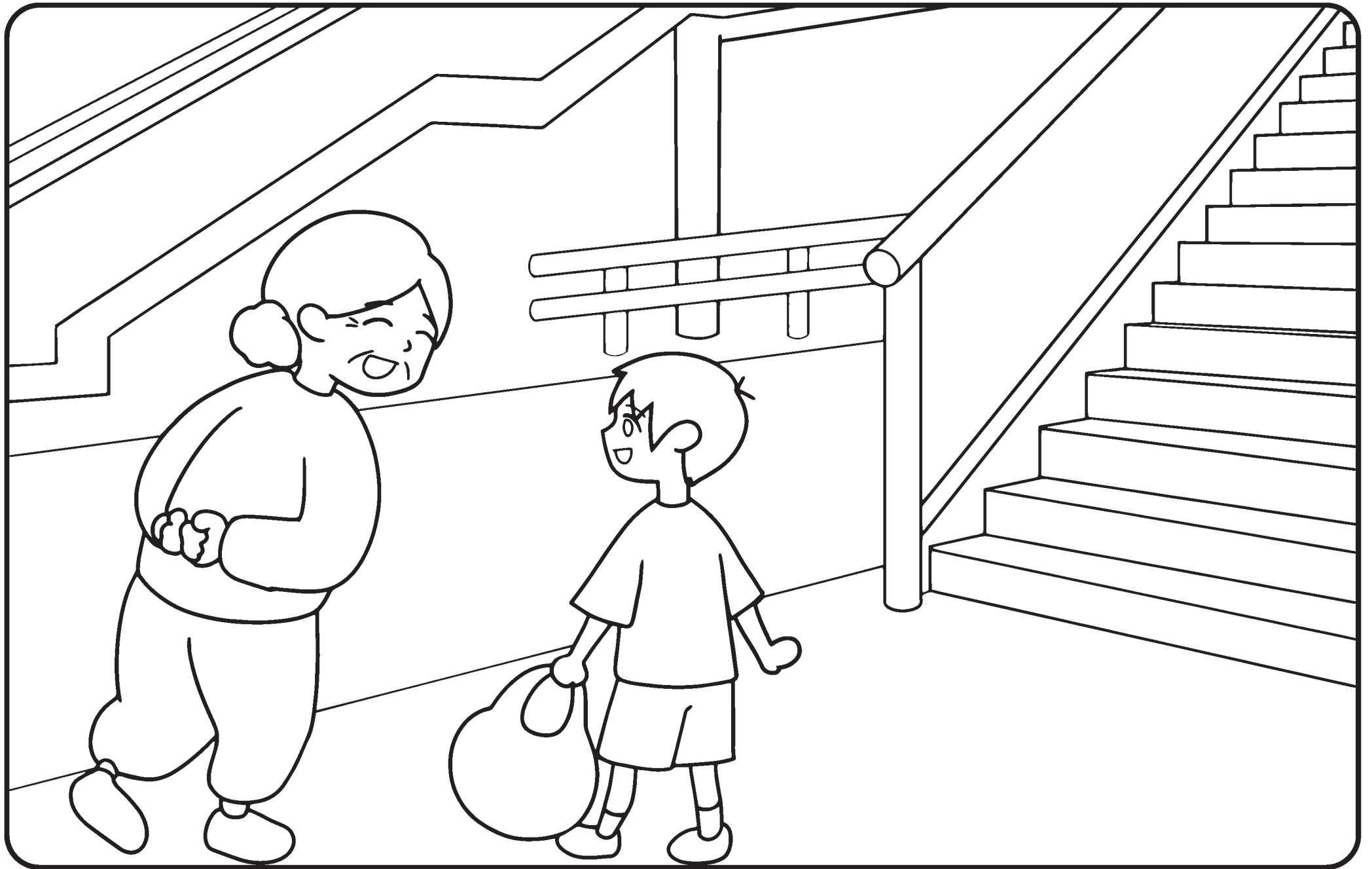
にち
日

〈かんそう〉

に が お え

じぶん かお しゃしん

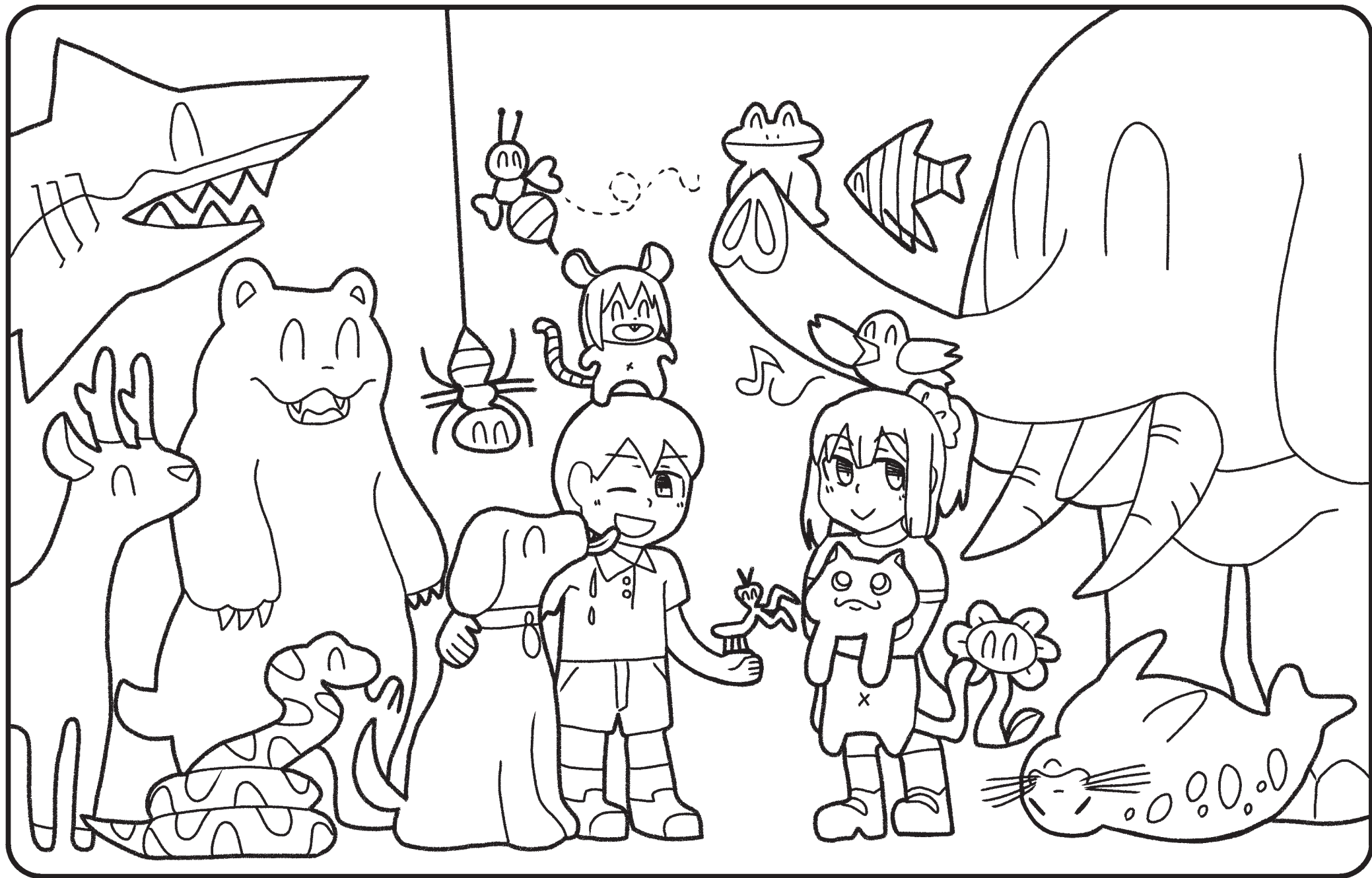
自分の顔をかいたり、写真をはろう！



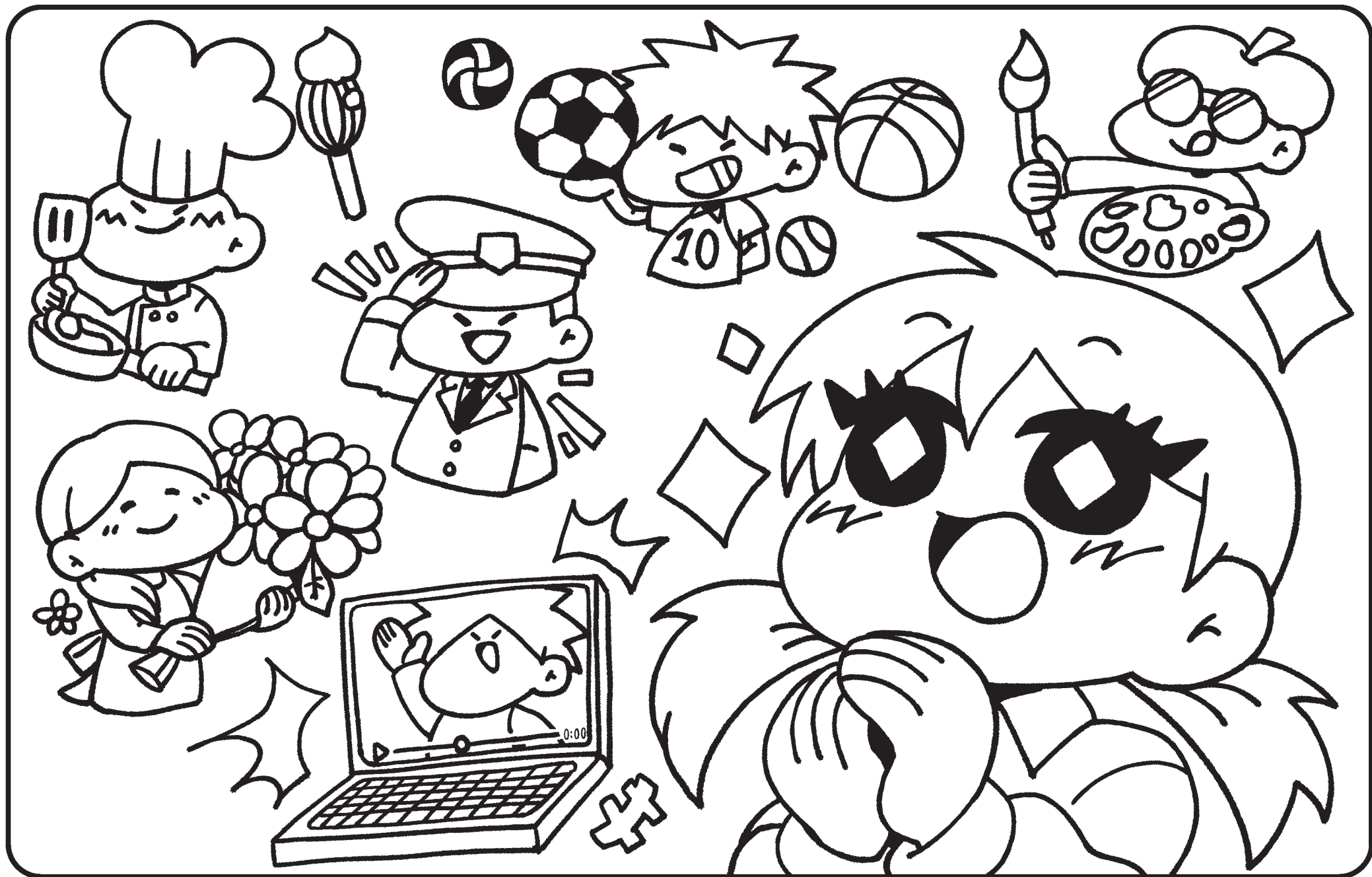
おとしよりや からだのふじゆうなひとに やさしくしよう



ちきゅうかんきょう みんなで まもろう



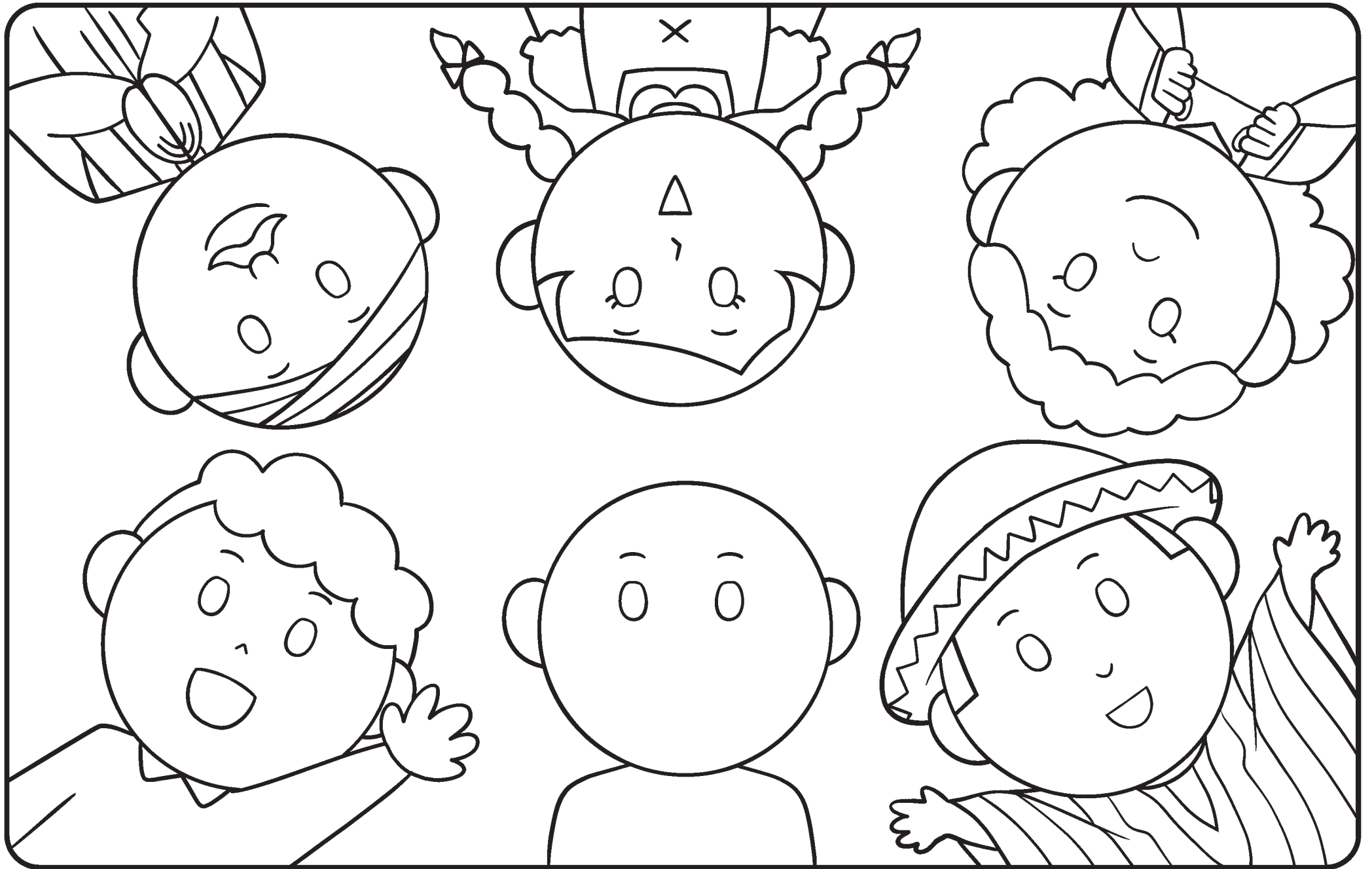
みんな ちきゅうの なかまたち



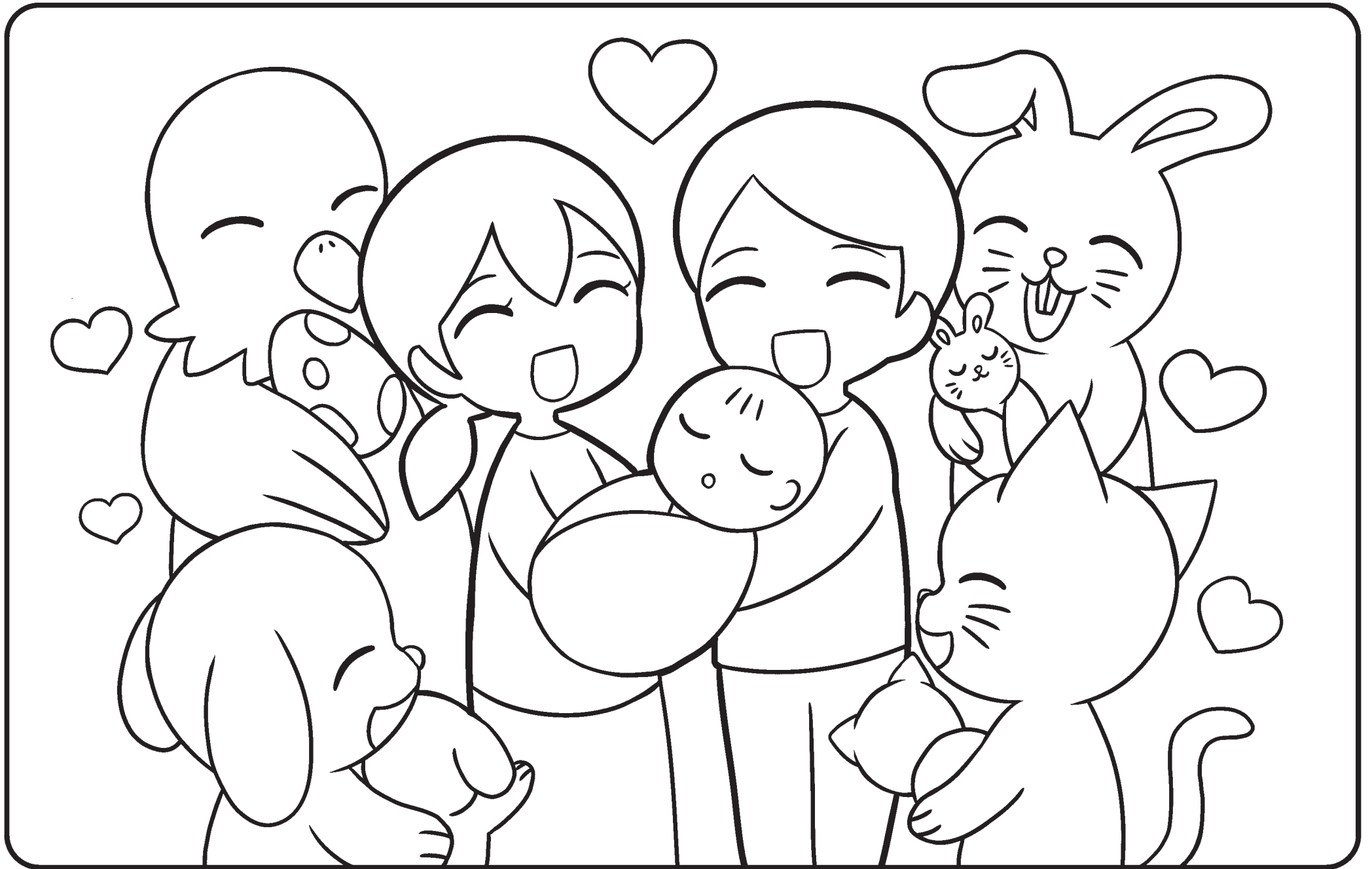
おおきくなったら なにになりたい？



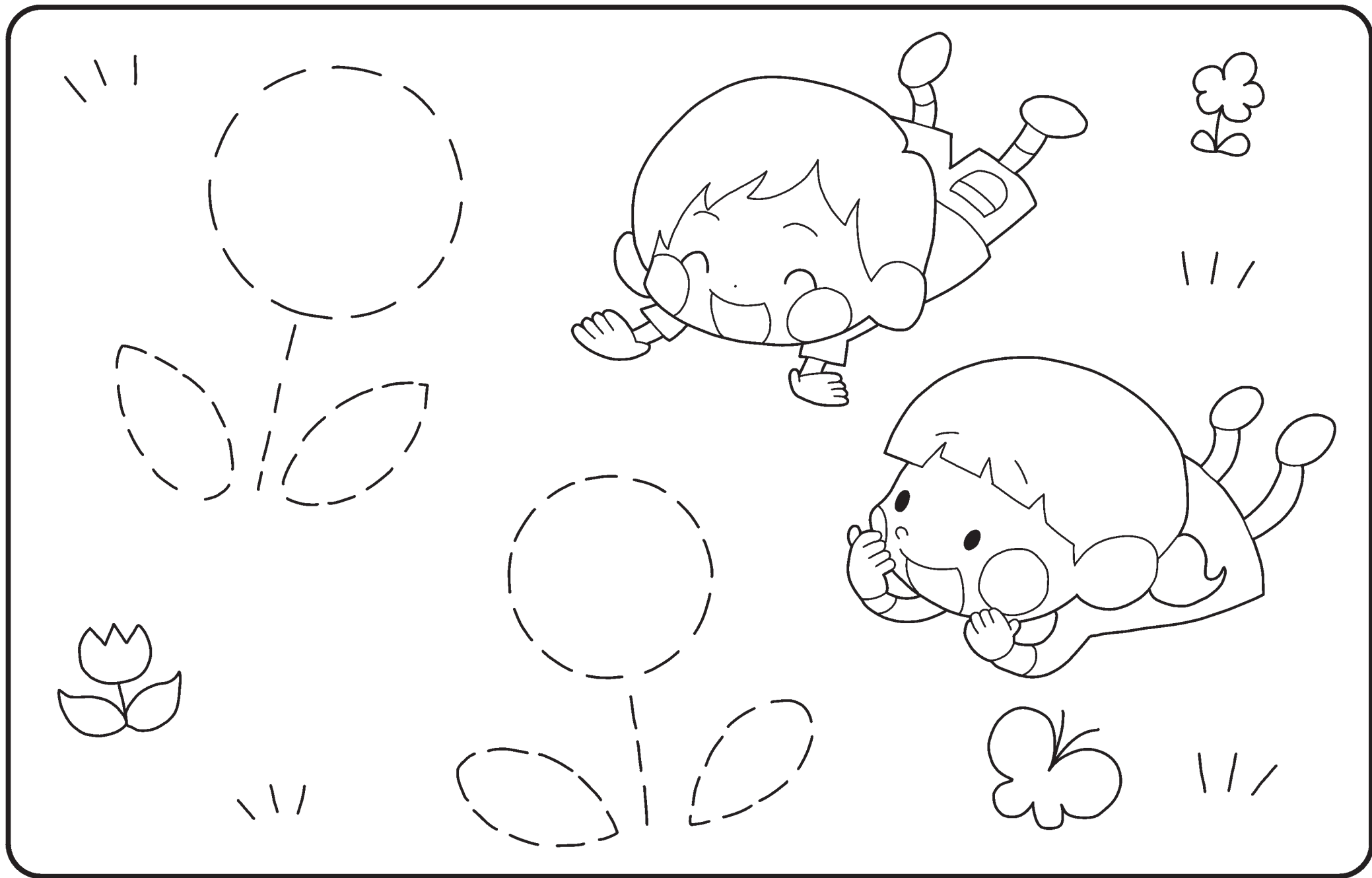
かたちも いろも いろいろあって いいんだよ



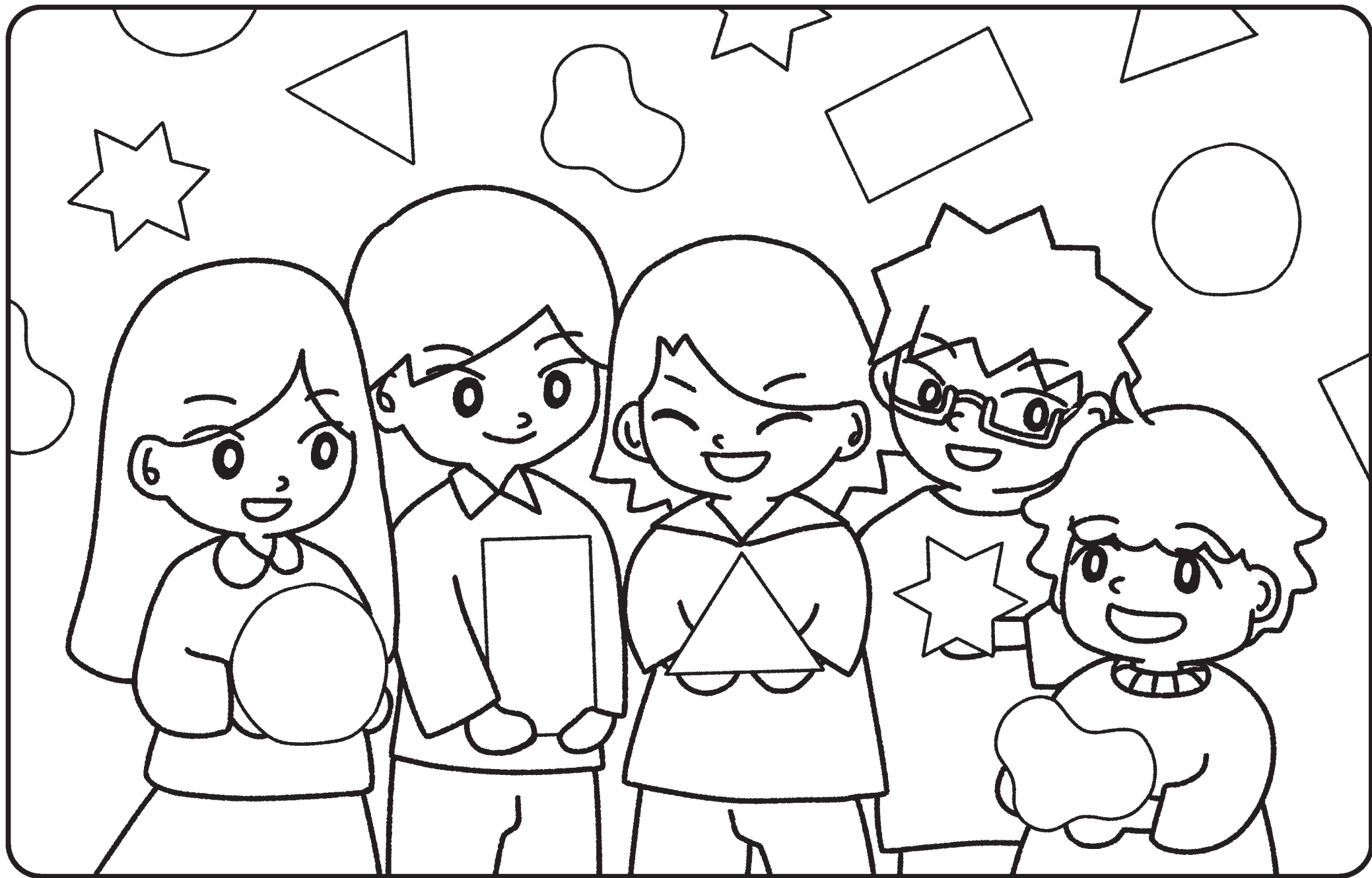
みんなともだち じぶんのかおを かいてみよう



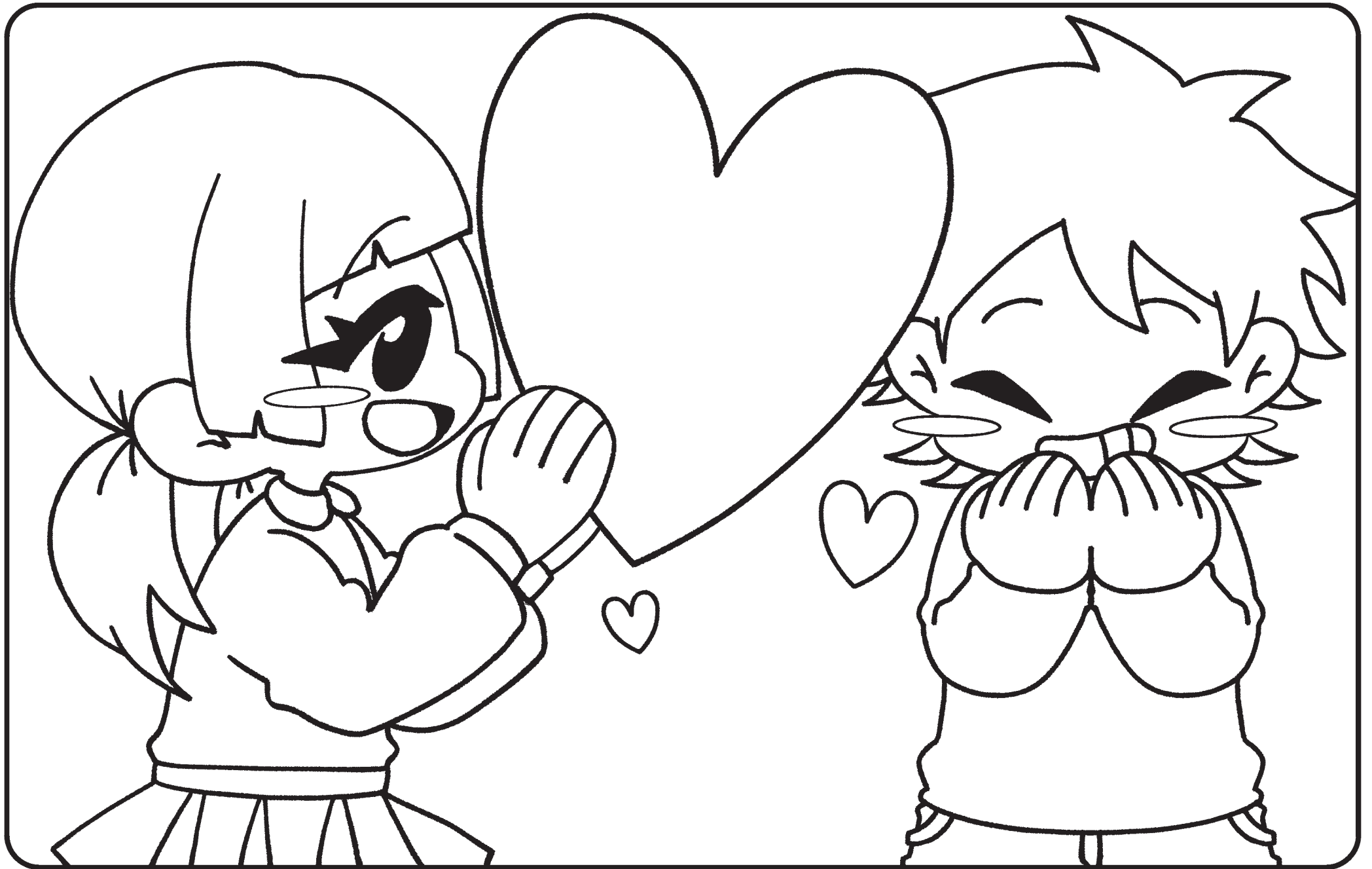
みんな それぞれ だいじな いのち



どんな はなが さくのかな？



みんなちがって みんなたいせつ



やさしいことば いってもらうと うれしいね





ひとり さんげん じんけん さんちょう しゃかい じつげん
一人ひとりの尊厳と人権が 尊重される社会の実現をめざして

せいぎ じんけん せいぎ い ことば ひと じんげん とうと
21世紀は「人権の世紀」とも言われています。この言葉には、すべての人が人間として尊ばれ、
しあわせ い ほしょう へいわ こころゆた しゃかい じつげん せかいじゅう ひとびと ねが
幸せに生きていくことを保障される平和で心豊かな社会を実現したいという、世界中の人々の願
いがかめられています。

ねが わたし ひとり じんけんさんちょう いしき たか じぶん じんけん たいせつ
この願いをかなえるために、私たち一人ひとりが人権尊重の意識を高め、自分の人権を大切に
おな たにん じんけん さんちょう かに ちいき がっこう ば
するのと同じように、他人の人権も尊重していけるよう、家庭や地域、学校などのあらゆる場や
きかい つう じんけん まな ひと たいせつ たいど こうどう み ひつよう
機会を通じて、人権について学び、人を大切にする態度や行動を身につけていくことが必要です。

かく たにん しゃかい かんけい こ
この『みんななかよく じんけんぬりえ』の各ページには、他人や社会との関係で、子どもたちに
たいせつ こ おお こ じゅう はっそう
大切にしてほしいメッセージがかめられています。より多くの子供たちに、自由な発想でこのぬ
たの かんが はな あ おも で
りえを楽しんでもらいたい。そして、メッセージについて考えたり話し合ったりした思い出とともに、
てもと のこ ねが
このぬりえをお手元に残してもらいたいと願っています。

京都府

【制作協力(2021年)】

- 作画：安井すずか・安達百叶・邑山篤史・安原乃愛(p4、10)・田中愛理・岩井あいか・イヒョンジュ・財田美瑠・浦野真理子
イラスト：山本佳未・柿里奈／表紙原案：安達百叶／キャラクターデザインコース(3、4回生 藤本ゼミ)・2回生／編集協力：島田飛奈(助手)
- デザイン・ディレクション：藤本千賀子(京都精華大学マンガ学部キャラクターデザインコース特任准教授)
- 発行：京都府府民環境部人権啓発推進室 ■制作：京都精華大学マンガ学部キャラクターデザインコース／法務省委託事業

